

ネイティブ・シュードモナス属コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-134

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合

に作用するものです。この酵素クラスの系統名は、ステリルエステルアシルヒドロラ―ゼで

す。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

用途 この酵素は、臨床分析においてコレステロ―ルオキシダーゼと結合することで、総コレステ

ロールの酵素的測定に役立ちます。

別名 コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラー

ゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリ

パーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

製品情報

由来 シュードモナス属

外□ 淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号 EC 3.1.1.13

CAS登□番号 9026-00-0

分子量 約300 kDa

活性 Gradelll 100U/mg-固体以上(安定剤約40%を含む)

混入物 カタラーゼ **<** 1.0×10⁻²%

等電点 5.9±0.1

pH安定性 pH 5.0-9.0 (25°C, 24時間)

最適**pH** 7.0-9.0

熱安定性 55°C未□ (pH 7.5、10分)

最適温度 40°C

ミカエリス定数 5.4×10⁻⁵M (リノレート), 6.6×10⁻⁵M (オレート), 3.7×10⁻⁵M (リノレン酸), 1.5×10⁻⁴M

(パルミテート), $1.2 \times 10^{-4} \text{M}$ (ミリスチン酸), $2.3 \times 10^{-5} \text{M}$ (ステアリン酸)

阻害剤 Hg⁺⁺、Ag⁺、イオン性洗剤

安定化剤 Mg++、ナトリウムコレート、ウシ血清アルブミン

保管・発送情報

安定性 -20°Cで少なくとも1年間安定しています